

認知症疾患医療センター

● スタッフ（2021年10月1日現在）

センター長 清水 聡一郎
 (医師：高齢診療科主任教授)
 副センター長 井上 猛
 (医師：メンタルヘルス科主任教授)
 山本 潤
 (看護師：看護部キャリア支援室)

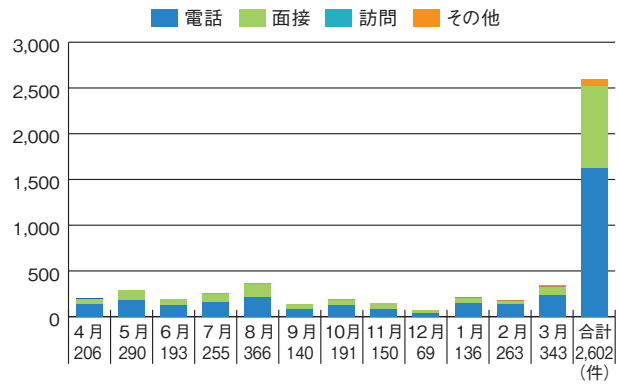
1999年より高齢診療科の「もの忘れ外来」で認知症の早期診断と治療、在宅認知症ケアネットワークを通じた病診連携、家族・介護者へ向けた介護者教室等へ取り組んできた。その実績が認められ2015年9月に東京都より認知症疾患センター（地域連携型）に指定されている。2018年4月より認知症ケア回診、2018年度より認茶屋（認知症カフェ）、2019年度より院内デイケア、2020年度より介カフェ（ケアラズカフェ）を実施している。

- (1) 認知症疾患センターの役割
- (2) 認知症の早期発見と治療
- (3) 身体合併症・行動心理症状への対応
- (4) 専門医療相談の実施（専従の相談員を設置）
- (5) 地域連携（かかりつけ医との）の推進
- (6) 地域包括支援センター、医師会の連携
- (7) 認知症にかかわる人材育成
- (8) 院内スタッフの育成

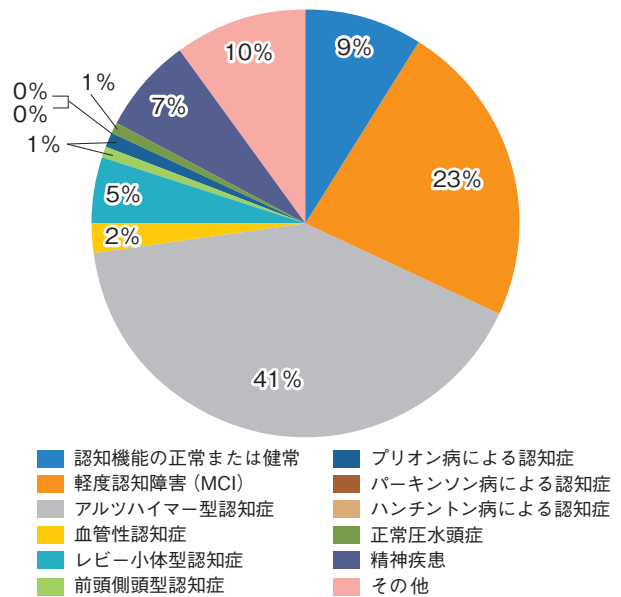
● 診療と相談実績

- (1) 初診は予約なしで可能であることが特徴
- (2) 外来初診患者は毎月40人前後で、約70%はかかりつけ医より紹介患者
- (3) 専門医療相談（専従社会福祉士、専任保健師による相談）は毎月200件程度
- (4) 新宿区や住民対象の研修会への講師派遣、東京都認知症疾患センター相談員研修の参加
- (5) 認知症患者の身体合併症や認知症鑑別のための入院は年間144件
- (6) 介護者教室、在宅ケアネットワークを定期的に開催
- (7) 認知症ケアチーム（認知症専門医、老年期認定薬剤師、社会福祉士、保健師、認知症看護認定看護師などの多職種）による回診を入院中の認知症患者に対して開始（2018年3月～）
- (8) 院内認知症カフェ「認（みとめ）茶屋」を認知症高齢者と家族に対して開始（2018年10月～）
- (9) 院内デイケアを入院中の認知症高齢者、高齢者に対して開始（2019年10月～）
- (10) 「介（たすけ）カフェ」を認知症高齢者の介護者に対して開始（2020年7月～）

2021年4月～2022年3月 専門医療相談件数



2021年4月～2022年3月 初診患者の鑑別診断 “もの忘れ”の内訳



2021年4月～2022年3月 専門医療相談の相談者別の内訳 関係者別内訳

